

# 大阪医療センター附属看護学校の入学応募者数の 状況と応募者確保のための対策

松村 泰志 池田 仁美 菅山 明子

第76回国立病院総合医学会  
2022年10月7日 於 熊本

IRYO Vol. 77 No. 6 (394-399) 2023

## 要旨

国立病院機構大阪医療センター附属看護学校は大阪市内にあり、昭和24年に現在の地に開設した歴史のある看護学校である。現在、入学定員80人であり、指定校・公募の推薦枠を20人、社会人入試枠を20人、一般入試枠を40人としてきた。応募者数は、社会人入試では平成29年度で75人、令和2年度で81人、一般入試では、それぞれ122人、135人と安定した応募があった。しかし、令和3年度には、社会人入試枠で58人、一般入試枠で99人と減少し、令和4年度は、それぞれ40人、67人とさらに減少した。看護学生応募者数を確保するための対策を講じる必要があることから、本校の学生を対象として、本校の入学希望者を増やすための方法についてアンケート調査を実施し、147人（59%）から回答を得た。回答内容では、ホームページの工夫、Social Networking Service（SNS）の活用、高等学校との連携についての記載が多かった。平成4年度は、推薦入学の枠を増やしたこと、Instagramを開始したこと、在学生によるメッセージを作成し、卒業した高等学校に配布したこと、オープンキャンパスとは別に保護者や社会人入学希望者が来校しやすい夜間に学校説明会を実施したことなどの対策を講じた。令和5年度の応募者は令和4年度に対し減らなかったが、今後、入学応募者が減らないよう、推薦枠を適切な数に設定し、ホームページ、SNSをうまく活用し、高等学校訪問をこまめに実施し、夜間の説明会を実施するなどを実施していく予定である。

キーワード 看護学校, 応募者, 入試

## はじめに

文部科学省「学校基本調査」<sup>1)</sup>によると、高校卒業生の数は1992（平成4）年にピークの181万人となり、その後減少し、2022（令和4）年は99万人となった。また、卒業生の大学進学希望は増える傾向にある。看護師養成校の最近10年の傾向では、看護師養成校への進学は2018年にピークとなった後減

少している。この内、大学進学者は増加した（2013年：19,376人から2022年：26,517人）のに対し、3年課程の看護専修学校等は2017年をピークに減少傾向にある（2013年：28,612人、2017年：29,822人、2022年：26,475人）<sup>2)</sup>。看護学生数は受け入れ側の数で決まっているので、入学応募者数の推移は捉えていないが、少子化が進んで高校卒業生数が減ってきていること、大学進学率が増える傾向にあること

国立病院機構大阪医療センター附属看護学校

著者連絡先：松村泰志 国立病院機構大阪医療センター附属看護学校 学校長

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14

e-mail：matsumura.yasushi.zv@mail.hosp.go.jp

(2023年3月15日受付 2023年8月4日受理)

Number of Applicants for Admission to NHO Osaka National Hospital Nursing School and Measures to Secure Applicants

Yasushi Matsumura, Hitomi Ikeda and Akiko Sugayama, NHO Osaka National Hospital Nursing School

(Received Mar. 15, 2023, Accepted Aug. 4, 2023)

Key words : nursing school, applicants, entrance examination